

ナシ樹体ジョイント仕立て専用の2年生苗育苗法

ナシの樹体ジョイント仕立ては、改植を推進する新たな省力的栽培法として各産地への導入が始まっており、その促進のためには十分に伸長した苗木の育成が重要です。そこで、全長330cm以上、移植労力や植え痛みも軽減できるジョイント専用2年生苗の育苗法を開発しました。

主要品種‘幸水’において、容量12Lの不織布ポットを利用し、先端から2本の新梢を伸ばす「直立育苗法」により、安定的に株間1.5mに定植可能な全長330cm程度のジョイント仕立て専用の2年生苗が生産できます。この育苗法は移植労力や定植後の植え痛みも軽減され、新品種の‘香麗’‘なつみず’‘なつしずく’等にも適用が可能です。

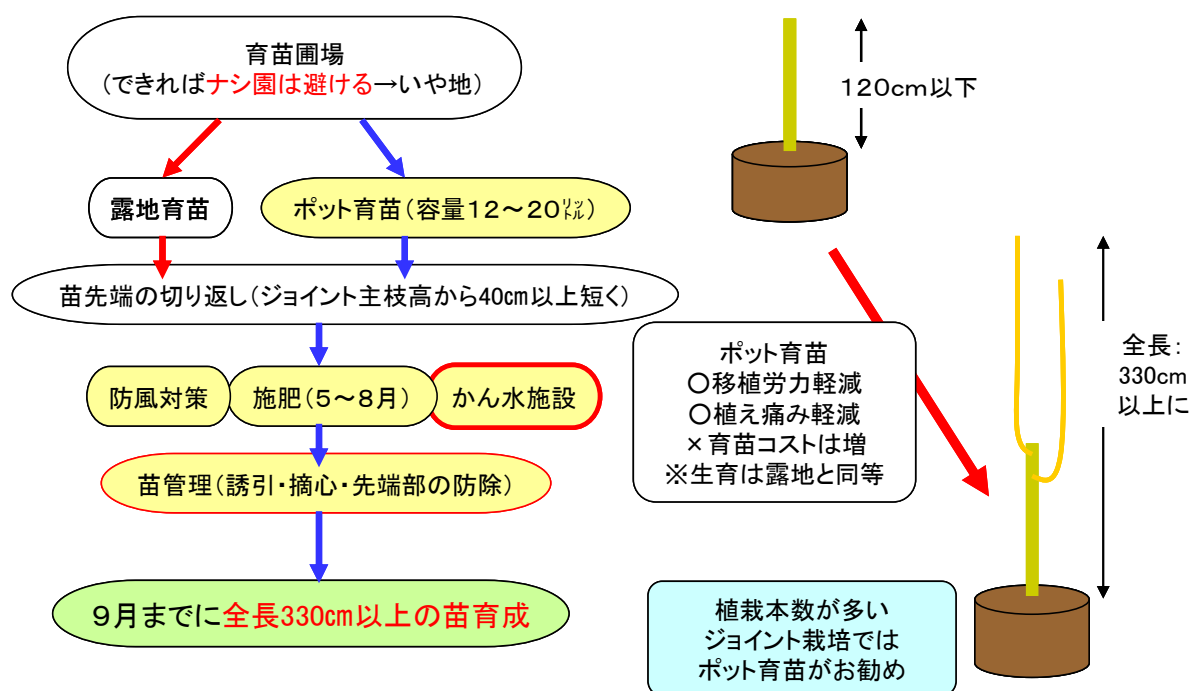


図 ナシ樹体ジョイント仕立て専用の2年生苗育苗法
(植栽間隔1.5~2.0m、150~200本/10a)